

2007 年度第 3 回東大本番レベル模試 地理 B 採点基準

1 単答記述問題

誤字、脱字、漢字間違いは 0 点。

2 論述問題

「設問別加点基準」に基づき加点する。また、その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし、満点を超える得点は与えない。

以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

下線の付け忘れは 1 点減点。

指定用語不使用は 1 点減点。

字数オーバーは 1 点減点。

* 減点しないでいい要素、その他の注意

地理用語に関して、漢字の新字体 / 旧字体や、スロヴェニア スロベニア、パキスタン パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

加点要素以外で誤った記述があった場合、その部分は 0 点だが、減点はしない。

加点項目は内容的に整合性が取れていればよく、字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

文章が未完のものも減点しない。

第1問 (計20点)

設問A

(1) ア - b イ - a ウ - c

【1点】(完答)

上記の通り。

(2) 乾燥気候のため木材を得にくく、断熱効果の高い日干しレンガを用いた構造の弱い家屋が多いため、地震によって崩れやすい。(57字)

【4点】(2点、1点、1点)

[家屋の特徴として] 日干しレンガ(アドベ)を積み上げたものであること。

「日干しレンガ」等の用語がなくとも、「土や泥を乾燥させた建材も用いている」ということが表現できていればよい。

「積み上げた」の表現がなくとも、「簡単な造り」「弱い構造」「崩れやすい」といったニュアンスがあればよい。

(「日干し」の付かない「レンガ」、「石材」の場合は1点)

[自然災害の内容として] 地震

以下の各項目のいずれかの下線部の内容があれば、最大で1点加点

(日干しレンガを用いる理由として) 乾燥気候下で木材を得にくいこと

(日干しレンガの効用として) 昼夜の気温差が大きい気候下で断熱効果が高いこと

(地震と結びつけて) 新期造山帯に位置すること

設問B

(1) カ 日本、キ 韓国、ク フランス、ケ イギリス

【2点】(完答、正解が1~3個の場合は1点)

(2) パイプライン(油送管)

【1点】(用語がなくとも同義の内容が説明されていれば可)

(3) 発熱量は高いが燃焼による大気汚染物質はほとんど出さず、そのうえ分布が中東に偏らないため、冷却液化技術により大量輸送が可能になると、石油危機後の安価な代替燃料として導入されたから。(89字)

【5点】(以下の ~ について各1点ずつ、最大5点まで加点)

発熱量(熱量、カロリー)が高いこと

(熱効率がよいこと)

燃焼による二酸化炭素(CO₂)や大気汚染物質(窒素酸化物 NO_x・硫黄酸化物 SO_x等)の発生が少ないこと

(大気汚染の少ないクリーンなエネルギーであること)

(液化に際して脱硫されるため硫黄酸化物を排出しないこと)

資源の分布が(中東に)偏らないこと

(産地が先進国にも分布すること)

パイプラインやタンカー（LNG タンカー）によって大量輸送が可能であること
（冷却液化技術の確立によりタンカーによる大量輸送が可能になったこと）
石油危機後に、石油代替燃料として導入されたこと
比較的安価であること
埋蔵量が豊富であること

設問 C

(1) 同じイスラーム教徒で、アルタイ語族系の似た言語を用いている。(30 字)

【2 点】(以下の について各 1 点)

同じアルタイ語族(テュルク語系(テュルク諸語)・トルコ語系)の言語を用いること
単に「同じ言語集団」「言語が近い」などの抽象的表現は加点しない
「トルコ人」「トルコ系民族」「トルコ系」等は加点する。
同じイスラーム教徒(ムスリム(スンニ派))であること
単に「宗教が同じ」などの抽象的表現は加点しない

(2) 外来河川であるユーフラテス川の水資源の利権をめぐる対立。(28 字)

【2 点】(があれば 1 点、他に の要素のうち 1 つ以上があれば 1 点加算する)

河川の水(水資源・用水・水利・水利権)をめぐる争いであること(同意可)

他の加点要素(を前提とする)

) 外来河川(用語はなくとも同義可)に関する問題であること

) 河川名 = ユーフラテス川、チグリス(ティグリス) = ユーフラテス川(水利をめぐる問題はユーフラテス川流域で起こっているのに、「チグリス川」のみは不可)

(3) 難民発生地に隣接する発展途上国が大部分を受け入れており、難民の存在が受け入れ国の経済・社会の不安定さを増大させている。(59 字)

【3 点】(2 点、 1 点)

受入国の特徴(以下の各項目につき 1 点ずつ)

) 難民発生地に隣接(近接)している(発生地の周辺)

) (アジア・アフリカなどの) 発展途上国

生じている問題(以下の各項目のいずれか 1 つ以上があれば 1 点)

) 難民受け入れによる(政治的・経済的・社会的) 混乱・負担・不安

) 自国における民族対立・紛争の発生(難民発生国に触発された結果)

を(アメリカ合衆国・ドイツなどの)「先進国」として、 を「外国人排斥・就業問題・人身売買による奴隷的労働・文化的摩擦・受け入れ態勢の不十分・受け入れ可否をめぐる論争や対立・受け入れコストの負担」などとする答案については、 に各 1 点を与える。

第2問 (計20点)

設問A

(1) A - 肉類 B - 米 C - とうもろこし D - 小麦

【2点】(完答、正解が1~3個の場合は1点)

上記の通り。

(2) 熱帯アジアのインドネシアとベトナムでの自給率がゼロだから。(29字)

【1点】((1)のDを正解していることが前提)

(熱帯アジア諸国・国土の大部分が熱帯の国/小麦生産に向かない高温多湿の国/冷涼乾燥に適した小麦の栽培が困難な国/(自給的)米栽培が中心の国であるインドネシア(またはベトナムまたはその両方)の自給率がゼロであること

国名だけではなく、下線部分の(同義可)理由付けが必要

(3) 疎林からセルバへ栽培地の開拓が進み、熱帯林の減少が著しい。(30字)

【2点】()につき各1点)

(疎林・草原 = カンボセラードから)(密林 = セルバへの)開拓が進んで(大豆の)栽培地域が拡大したことによる

大豆の栽培地域が拡大したことがポイント。「開拓」の語はなくてもよい

熱帯林(熱帯雨林・セルバ[ジャングルは不可])の減少

森林減少に伴う問題(生態系破壊・二酸化炭素増大・土壌流出など)を書いてよいが、「熱帯林の減少」がなければ加点しない

遺伝子組み換え大豆の導入による問題については加点しない

(4) 社会主義下で市場経済導入と対外開放による外資誘致を行った。(29字)

【2点】(各1点、最高2点まで)

社会主義国であること

市場経済/自由経済を導入したこと

対外的な開放政策によって外資(外国資本、外国の企業・工場・技術)を導入(誘致)したこと

「改革開放政策」「ドイモイ(刷新)政策」などの用語はあってもよいが、あくまで上記のように2国の共通点の説明がなければ加点しない。

(5) 成長産業における豊富な労働力となるうえ、国内に発展可能性の高い大市場を持つことになるため、国内外からの投資を得やすい。(59字)

【3点】(以下の各項目につき各1点で、最高3点まで)

豊富な労働力(生産年齢人口)をもつこと

(優秀な人材の輩出可能性が高いこと)

国内の大市場を形成しうること

(内需の拡大)

人口の多さが社会的効率を高めること

(~ の潜在的成長力を背景に)投資の対象となりやすいこと

設問B

(1) ブラジルの熱帯雨林や、アルゼンチンの砂漠と乾燥草原である。(29字)

【2点】(以下の各項目[いずれも国名と植生はセット]につき各1点、最高2点まで)

ブラジルのセルバ(熱帯雨林)

ベネズエラのリャノ(熱帯草原・熱帯疎林)

ブラジルのカンポセラード[セラード](熱帯草原・熱帯疎林)

パラグアイのグランチャコ(熱帯草原・熱帯疎林)

アルゼンチンのパタゴニア(砂漠)

アルゼンチンの(乾燥)パンパ(乾燥草原)

(2) 関税撤廃に加え、人・物・資本の域内移動が自由化され貿易障壁がほぼ存在せず、通貨も統合されて、域内分業が確立しているため。(60字)

【3点】(以下の ~ につき各1点)

以下のいずれかの内容

) 域内関税(貿易障壁)が撤廃されていること(関税同盟)

) 市場統合が進んでいること

) 労働力・商品(財・サービス)・資本の移動が自由であること

以下のいずれかの内容

) 通貨統合(共通通貨ユーロの導入)

) 欧州中央銀行(ECB)の設立・活動

域内の分業体制が確立・進展していること

(3) 日本などから部品や半製品を輸入し、アメリカ合衆国などの先進国に機械類などの工業製品のほかに一次産品を輸出するが、市場拡大による域内貿易や、急成長する中国との貿易も拡大している。(88字)

【5点】(以下の ~ について各2点ずつ、他は各1点ずつ、最高5点まで)

日本(アメリカ合衆国・アジアNIEsなど)から基礎素材・部品や半製品を輸入

アメリカ合衆国(日本・EUなどの先進国)へ工業製品(電気機械・電子製品など)・

一次産品(鉱物資源・農水産物など)を輸出

域内における(シンガポールを中心にした)工業製品の貿易が増大している

(急成長する)中国との貿易が増大している

輸出における一次産品や軽工業品の割合が低下、重化学工業製品の割合が上昇

第3問 (計20点)

設問A

(1) ア 長野、イ 千葉、ウ 鹿児島、エ 大阪

【2点】(完答、正解が1~3個の場合は1点)

上記の通り、別解なし

(2) 週休2日制は定着したが有給休暇の取得が少ないため、短期周遊型が中心で、ヨーロッパで多い長期滞在型はほとんど見られない。(59字)

【3点】(以下の ~ につき各1点、合計は3点を越えない)

日本の労働者の労働と余暇時間について(以下の項目のいずれかが書けていればよい)

) (以前と比べれば短縮されたが、独仏と比べ、サービス残業などにより、統計に表れる以上に)労働時間が長めである

) (週休2日制は定着したが/祝日数は多いが)有給休暇の取得日数が少ない/有給休暇の制度があっても利用しづらい

) 余暇時間が少ない/余暇時間があっても細切れである(有効に利用できない)

独・仏では、長期滞在型観光(長期休暇を利用したバカンス)を楽しむ

日本では、短期周遊型観光(短い余暇を利用した小旅行)/ (効率的に周遊する)ツアー客(団体旅行)が多い

年末年始・ゴールデンウィーク・お盆など、限られた日程での帰省などが中心である(これまで短期中心であったため、長期休暇があっても長期観光につながらない)

<観光地・観光施設側の視点> 日本では、国内観光地が1泊2日の客に対応してきた(そのため長期客用の施設が少ない)が、独・仏では、長期滞在向けの施設が整備されている。

(3) 開発によって観光資源である自然環境や景観を損ない、地価上昇などが地元住民の生活に悪影響を及ぼすほか、地域外の企業が利益を吸い上げ、不採算により撤退すると観光地の存続が困難になる。(89字)

【5点】(は各2点、 は各1点、最高5点まで)

大規模開発・観光客の増加によって、観光資源である自然環境や景観が損なわれること

地元住民の生活侵害(以下の具体的項目につき1つ1点で、最高2点まで)

)地価・物価の上昇、土地の買占め

)行政コストの増大

)地元の農林水産業や地場産業の破壊

地域の持続的観光(グリーンツーリズムなど)への打撃

)地域コミュニティの崩壊、地域の社会構造や文化の変容

)交通渋滞・プライバシー問題・ゴミ問題など

大資本の進出により、観光による利益が地域外に吸い取られる

(地元への利益還元が小さい)

開発計画の縮小や廃止・進出企業の撤退・経営破たんなどが、地域の観光ビジネスの存続や地元経済に致命的な打撃を与える

設問 B

(1) イスラーム教の聖地メッカへの巡礼旅行

【2点】(以下の につき各1点)

(目的地がイスラーム教の聖地)メッカであること

「イスラム」「イスラーム」のいずれの表記も可。

「イスラーム教の聖地」の語は必ずしもなくてもよいが、「サウジアラビアの首都メッカ」など、事実誤認や出題意図からはずれている説明があれば、たとえ「メッカ」と書かれていても加点しない。

ムスリムの五行のひとつ「巡礼/ハッジ」であること(「巡礼」あるいは「ハッジ」の用語が必要)

(2) ヨーロッパは高緯度に位置しており、短い日照時間を補うため、夏に晴天の日が多く比較的温暖な地中海沿岸に陽光を求めるから。(59字)

【3点】(以下の ~ の各項目につき、各1点)

ヨーロッパは(高緯度で、年間を通じて)日照時間が短い

ヨーロッパ北部は冷涼

地中海地域は夏に晴天が多い(日照時間が長い・降水が少ない・陽光が豊富)

地中海地域は比較的温和/温暖

(3) 短時間で見学できる文化的観光地が多く、他国周遊の通過点ともなるフランスと違い、オーストラリアには大自然の体験型観光地が多いうえ、他の観光地から遠いため滞在が長期化しやすいから。(88字)

【5点】(2点、 3点)

フランス(以下の各項目につき1点ずつ、最高2点まで)

) 短時間で見学(周遊)できる文化的観光地(文化施設・歴史的建造物・都市観光地など)が多い

) 周辺に観光国が多く、移動もしやすく、周遊の通過点となりやすい

) ・ のいずれかを踏まえて、(オーストラリアに比べて)滞在日数が少ない

「滞在日数が少ない」だけでは加点しない。フランスでの観光客滞在日数が短くなる理由付けが必要。 ~ 以外にもフランスでの観光客滞在日数が短くなる原因について適切な考察がなされていれば加点。

オーストラリア(以下の各項目につき1点ずつ、最高3点まで)

) 時間をかけて大自然を楽しむ体験型観光地が多い

) 大陸国であるため、他国へ移動しやすいとはいえない

) 近隣(周辺)に観光国は多くないため、単独で旅行目的地になりやすい

) ・ のいずれかを踏まえて(フランスに比べ)滞在日数が多い

「滞在日数が多い」だけでは加点しない。オーストラリアでの観光客滞在日数が長く

なる理由付けが必要。 ~ 以外にもオーストラリアでの観光客滞在日数が長くなる原因について適切な考察がなされていれば加点。

-) 南半球に位置するため、北半球が寒冷な時期に温暖なため長期滞在が好まれる
-) オーストラリア政府による積極的な滞在地・滞在施設の開発・整備